

令和8年度に開校予定の音別地区における新しい義務教育学校の名前が「**釧路市立音別義務教育学校**」となります。

## ■校名公募の結果

2023(令和5)年7月3日～8月2日の期間に、音別小学校、音別中学校の児童・生徒・保護者・教職員、「音別認定こども園」の園児・保護者・教職員、音別小学校や音別中学校の卒業生、また、音別地区の住民の方を対象として、校名の公募を行いました。

結果、**68件51案の応募**をいただきました。多数のご応募ありがとうございました。

## ■音別地区義務教育学校開校準備協議会 第2回会議開催

2023(令和5)年8月29日午後6時30分より、音別町コミュニティセンター研修室1～3にて、第2回目の会議が開催されました。

議題として、公募の結果を踏まえた「校名の選考」と、義務教育学校開校に向けた「校舎の整備」について協議を行いました。

### 【(1)校名の選考について】

公募でいただいた学校名案では、「音別」、「北のビーナス」という言葉が多く見受けられたことを踏まえて、「音別」、「北のビーナス」という言葉と、「義務教育学校」などの学校の名称を組み合わせた形で協議会委員にて投票を行い、その結果を踏まえて第3回会議で決定することとなりました。

### 【(2)校舎について】

校舎については、令和5年9月定例市議会にて校舎の増改築の基本・実施設計の補正予算議案の提出について、事務局から下記の説明とともに示され、承認されました。

- ① 義務教育学校の校舎は、「釧路市がめざす学校のすがた基本計画」に基づき、現音別中学校を活用する。
- ② 音別中学校の既存校舎は長寿命化改修工事を行うほか、増築棟RC造2階建てを建設する。
- ③ 義務教育学校に必要な施設機能として、9学年分の普通教室、特別支援教室をはじめ、理科室や技術室などの特別教室、図書室、職員室や保健室、相談室の確保、小中学生で高さが異なる屋内体育館のバスケットゴールの高さ対応。機能拡充として、エレベーターやバリアフリートイレ設置などのバリアフリー対応を行う(レイアウト等は今後協議)。
- ④ 工事期間は、令和7年度から令和8年度末を予定しており、その際は、中学校を運用しながらの工事は困難であることから、令和7年度に音別中学校は、音別小学校へ仮に移転を行うが、義務教育学校の開校は令和8年度に予定しており、校舎工事が完了後、移転する。

## ■音別地区義務教育学校開校準備協議会 第3回会議開催

2023(令和5)年10月11日午後6時30分より、音別町コミュニティセンター研修室1～3にて、第3回目の会議が開催されました。

議題は、「校名の選考について」、「校歌について」、「校章について」として協議等を行いました。

### 【(1)校名について】

第2回会議に基づき、各委員に校名案へ投票していただいた結果を踏まえて第3回会議で決定することとなりました。その結果、「釧路市立音別義務教育学校」11票、「釧路市立北のビーナス音別義務教育学校」2票、「釧路市立北のビーナス音別学校」1票、「釧路市立音別ビーナス学園」1票、「釧路市立北のビーナスおんべつ義務教育学校」1票となり、この結果を踏まえて協議会で審議した結果、新しい学校名を「釧路市立音別義務教育学校」と選定しました。

### 【(2)校歌について】

新しい学校の校歌について協議の結果、現音別小学校の歌詞の一部にある「音別小学校」という箇所を「音別校」に変更したうえで、現音別小学校の校歌を「第1校歌」、現音別中学校の校歌を「第2校歌」として教育課程によって使い分けて使用することで決定しました。

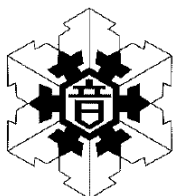
※現在、歌詞の改変について法関係や関係者の方への確認作業をしております。

音別中学校校歌	音別小学校校歌
一 (知育) 一 明るく清く ひとすじに 学びの庭の 内外に 誠を求め 美をさぐり 進む我等の 精神の ああ豊かなり 真理観	一 あかつきの空 晴れわたる あおぐ阿寒の 気高きは 高きのみと 強き身と はげみつきしし ほこりなり ああ ほまれの音別小学校
二 (体育) 二 親潮あらう 北海に 阿寒おろしの 朔風に 朝な夕なに 鍛えたる 伸びる我等の 肉体の ああ躍動の 健康美	二 光はてなき 太平洋 世界の文化 めぐる海 真理のいずみ ともにくみ ゆたかな知識 身につけん ああ 希望の音別小学校
三 (徳育) 三 楽しく集い 和やかに 秩序の歩み 健やかに 幸ある生活 希いつつ 破く我等の 日常の ああ誇りあり 音別校	三 まなびや高く かけわたす にじは七色 とももの橋 正しき道に 手をとりつ まことのつとめ いざ果たさん ああ よろこびの音別小学校

【参考】現音別中学校・小学校の校歌

### 【(3)校章について】

現音別小学校の校章については、大正10年4月11日に制定されたという歴史があることと、校章の由来が「雪とミズナラの葉を合わせてデザインしたもので、音別の自然を表している」こと、また、「6本の黒い部分はペンをデザインしており、校章が作られた当時の音別の産業(農業・林業・商工業・鉱業・水産業・観光業)を表している」ことから、子どもたちに、音別には炭鉱があつて栄えていたことなど、ふるさとの歴史や産業を知ってほしいという理由により、現音別小学校の校章を引き継いで使用することで決定しました。



【参考】現音別小学校の校章

次回協議会は、教育目標・教育課程等の協議を予定しておりますが、開催日程は未定です。

